

## 授業シラバス

### 詳細情報

2011-4020000399-01

| 科目名「クラス名」(サブタイトル) | 期別    | 単位数 | 開講年次 |
|-------------------|-------|-----|------|
| 経営戦略論             | 前期    | 2   | 2    |
| 担当教員              | 合力 知工 |     |      |

#### 概要

経営戦略の策定にとって最も重要なのは、その方法論よりもむしろ方法を生み出す土台となる「モノの見方」です。しかし、経営戦略を含む多くの経営学に関する研究が、この「土台」を飛ばして、その「上物」ばかりに焦点が当てられています。そこで、本講義では、まずこの「土台」に相当する「モノの見方」について、できる限り平易な表現をし、分かり易く説明していきます。

また、元来、経営戦略とは、「ヒト・モノ・カネ・情報」という観点から、企業経営を円滑に促すような計画的・長期的方策を意味します。具体的に挙げれば「人事戦略」「CS(顧客満足)戦略」「物流戦略」「財務戦略」「広告戦略」など枚挙に暇がありませんが、本講義ではできるだけ多面的な角度から、「不確実な経営環境を背景に、企業はどのような戦略を打ち立て、業績を維持・成長させていくか」ということについて、事例を紹介しながら実践的に考察していきます。

講義は、テキストにしたがって進められますので、テキストの次回講義の部分を事前学習として読み込んでいく必要があります。

また、講義が終わった後に、必要に応じてリアクション・ペーパーを提出してもらい、それで講義の「振り返り」を行います。

#### 到達目標

本講義において、経営戦略の策定の仕方、経営戦略を策定する際に必要な「柔軟なモノの見方」が身につきます。

#### 成績評価基準および方法

評価方法：定期試験とリアクション・ペーパーにより評価します。

割合：定期試験(80%)、リアクション・ペーパー(20%)

評価基準：定期試験(設問に適切に解答できているかどうか)、リアクション・ペーパー(課題に対して適切に答えられているかどうか)

出席によるプラスの評価はありませんが、欠席によるマイナスの評価があります。欠席回数(10分以上の遅刻は3回で1回分の欠席とみなす)の場合、定期試験からマイナス20点とします。なお、部活の公式大会出場、病気による欠席は考慮します。

#### テキスト

合力知工著『「逆転の発想」の経営学 - 理念と連携が生み出す力 - 』(2010同友館)を使用します。テキストは毎回使用するので、必ず購入するようにしてください。

また、適宜VTRなど視聴覚教材を使用しますが、教室の都合により、使用できない場合もあります。

#### 参考書

「逆転の発想」の経営学 - 理念と連携が生み出す力 - ISBN9784496046353

#### 履修上の留意点

講義には出席せずに、他人のノートを丸暗記して試験に臨む、というやり方では、本講義の単位はとれません。しかし、毎回、講義に出席し、まじめに受講していれば、納得のいく評価を受けられると思います。

登録については、学修ガイドの『登録制限科目について』を参照してください。

#### 授業計画

- 1 「モノの見方」について(「learn」と「study」の活用)
- 2 「常識」の落とし穴
- 3 「逆転の発想」の実例 (マーケティングにおける「逆転の発想」)
- 4 「逆転の発想」の実例 (中小企業活性化における「逆転の発想」)
- 5 経営戦略の策定プロセスと組織の3要素
- 6 ポーターの経営戦略論
- 7 競争戦略と協調戦略 (「競争」と「協調」の考え方)
- 8 競争戦略と協調戦略 (ケース・スタディ)
- 9 SWOT分析
- 10 リーダーシップ論 (リーダーシップの種類)
- 11 リーダーシップ論 (ケース・スタディ)
- 12 CRM戦略 (顧客ロイヤルティとは何か)
- 13 CRM戦略 (パレートの法則)
- 14 CRM戦略 (ケース・スタディ)
- 15 総括(持続的に成長していく経営)